

備後 教区報

第 172 号
2020(令和2)年12月25日



特集 教堂報恩講



CONTENTS

- ◇宗会議員選挙 再任挨拶
- ◇コロナウイルス行事対応
- ◇ルポ コロナ禍の法座活動
- ◇NEWS & 活動情報
- ◇予報・インフォメーション

YouTube で Online 参拝

詳細は P 6 ~ 7





十二月に任期満了に伴う宗会議員総選挙が行われました。備後教区では山下義円、助永一男両議員が再任されました

教区宗会議員 再任の挨拶

僧侶宗会議員 山下義円

備後教区選出の宗会議員として、皆様のご支援のもと、三期目を勤めさせていただき、ことになりました。コロナ禍の中、それに伴う各寺院、宗派、本山の疲弊化、僧侶の育成、法座の在り方、過疎など多くの問題が山積しています。又、2023(令和5)年には、親鸞聖人御誕生850年、立教開宗800年慶讃法要を、お迎えます。ひとつ、ひとつ一生懸命取り組んでまいりますので、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

門徒宗会議員 助永一男

この度、備後教区選出の宗会議員として、三期目を勤めさせていただき、ことになりました。新型コロナウイルス感染症は、第3波ともいわれ未だ終息の目途がまったく立たない現況にあり、寺院活動も多くが制限され大変な時期を迎えています。このような厳しい時期だからこそ、私は一般寺院が元気で活発な活動が出来るよう、支援体制を作り上げていくことが、宗門全体の発展につながるものと思っております。皆様のお役に立てるよう精一杯勤めてまいりますので、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。



▲ 助永一男宗会議員



▲ 当選状交付の様子(山下義円宗会議員)

コロナウィルス感染症拡大に伴う行事対応

2020.12月現在

新型コロナウイルス感染症は未だ終息のめどが立たず、現在も第3波といわれる感染拡大が続き、予断を許さない状況が続いております。本年度に入り当教区においても、行事の中止や規模縮小などの影響がでております。教区教堂、及び各種団体の本年度活動状況について取り纏めました。

教区行事

- ・第25回平和のつどい (開催中止)
- ・同朋講座 (開催中止)
- ・僧侶研修会 令和3年²⁰²¹2月22日開催予定

教化団体行事

- 【仏婦連盟】
 - 総会・幹部研修会 (中止)
 - 仏婦寺婦実践運動研修会 10月20日開催 ※人数制限を設けた上で半日開催
 - 会員研修会 12月3日開催 ※人数制限を設けた上で半日開催
- 【仏壮連盟】
 - 総会・研修会 (中止)
 - 第23回全国仏教壮年備後大会 (本年度中止) ※備後教区担当
 - 仏壮研修会 10月31日開催 ※全国大会実行委員会委員対象
- 【寺婦連盟】
 - 総会 (中止)
 - 仏婦寺婦実践運動研修会 10月20日開催
- 【少年連盟】
 - 総会 (中止)
 - 教区指導者研修会 (中止)
 - 子ども大会ウォークラリー (中止)
- 【保育連盟】
 - 全体協議会(総会) (中止)
 - 新任教職員補任式・研修会 (中止) ※次年度へ繰り延べ予定

教堂関係

- ・常例法座(毎月11日) (4月・5月は休座) ※6月以降は感染症防止対策を講じたうえで開座
- ・仏婦清掃奉仕については、担当組の判断にお任せする

【布教団】

- 総会研修会・夏期布教大会 (中止)
- 特別布教大会(於 三次組西福寺) 9月23日開催
- 青年布教大会(於 御調西組順勝寺) 10月28日開催

【門 推】

- 門徒推進員のつどい (中止)
- 聞法のつどい(比婆組西教寺報恩講参拝) 11月29日開催

【更生保護】 総会・研修会

- 【ビハール】 総会・公開講座 (中止)

- やすらぎ講座 8月7日開催

- ビハール活動・団体者のつどい (中止)

- ビハール備後研修協議会 (中止)

※施設訪問活動は当面の間休止

【総代世話人会】

- 総代世話人会 9月28日開催
- 教区門徒総代研修会(南部北部) (中止)

【ご縁づくり】

- ご縁づくりサポーター連絡協議会 10月27日
- ※ZOOM利用にて WEB会議開催

【勤 式】

- おつとめ教室 (4・5月休止) 6月より開催
 - 勤式練習会 (4・5月休止) 6月より開催
- 以上

コロナ禍の法座活動

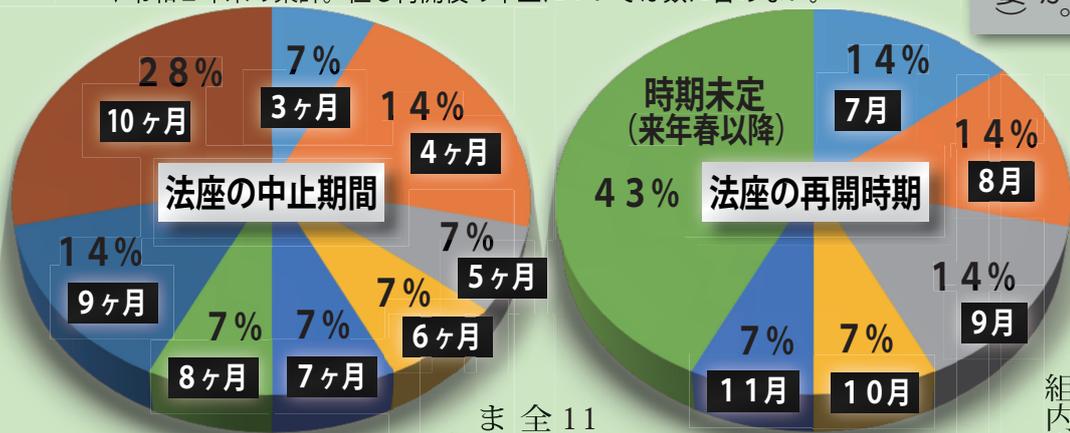
ルポ

アンケート調査から見える法座の現況

今年新型コロナウイルスの感染拡大・クラスターを防ぐため、寺院の法座活動も大幅に変更・自粛を余儀なくされた。その中で浄土真宗で大切な聴聞の集い「ご法座」は各寺、どのような状況であったのか。御調西組(14ヶ寺)に協力を仰ぎ、調査を行った。(文責:教区報専門委)

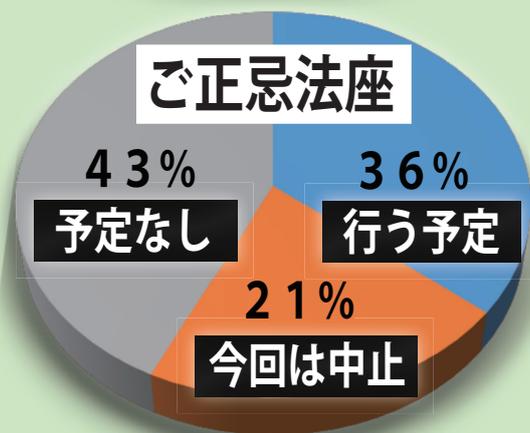
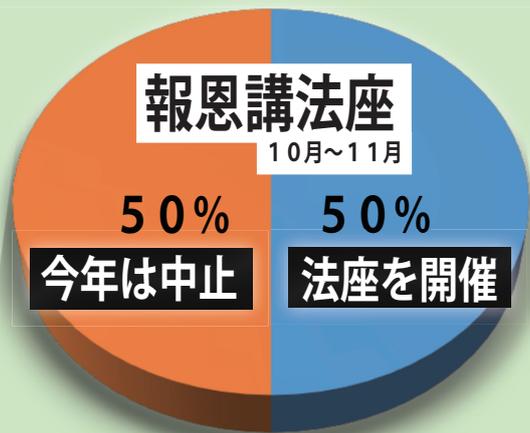
設問1 新型コロナウイルス(以下コロナ)の影響でお寺での法座・行事を中止にしましたか?			
はい	100%(14/14ヶ寺)		
設問2 コロナの影響で法座(行事)の中止を決めたのは、いつからでしたか?			
令和2年3月から	71%(10/14ヶ寺)		
令和2年4月から	29%(4/14ヶ寺)		
※このうち3月に法座を開催したのは、全体のうち2ヶ寺			
設問3 中止にした行事は、何でしょうか?			
春彼岸、花まつり、降誕会、盂蘭盆会、秋彼岸、夏法座(泥落とし)、仏婦法座、追弔会、永代経、組仏婦研修などの各法座。子ども報恩講、サマースクール、初参式、離郷門徒のつどい、コンサート、念仏奉仕団、聖典講座、おつとめ教室、書道教室、土曜学校、などの各種講座や行事。その他、各家へお参りする彼岸参り、盆参り、報恩講、といった季節の法要など。			
設問4 法座は、いつから再開されましたか?			
7月の法座	14%	10月の法座	7%
8月の法座	14%	11月の法座	7%
9月の法座	14%	時期未定	43%
設問5 延期しても行なった行事は何でしょうか?			
お講仏	文化財のため、県や市から問い合わせあり		
仏婦結成百周年記念	報恩講に併せて式典		
組仏婦連盟研修会	来年度に延期予定		

▼令和2年末の集計。但し再開後の中止については数に含めない。



11月には「今では(法座を)全く通常どおりに行なってます」という回答もあった。或いは同時期に「今年春から来年春までは中止」と決めた寺もあった。コロナに過敏な人、地域性の違いも顕著に見受けられるが、たとえ同じ地域にあっても寺によって開催・中止が混在している状況が改めて確認できた。

御調西組は安芸教区に隣接した教区の南西部で、山間の農村部・沿岸の都市部が含まれた地域。標本調査として十分な数ではないが、コロナ禍における法座例として記録と対策の一助としたい。アンケートは主に法座の中止・開催に関連したものを設問として、9月から11月にかけて2〜3回、組内全寺院に聞きとり調査をおこなったものである。9月の時点では報恩講も開催未定という回答が多く、開催の是非について葛藤しておられる様子がうかがえた。再開した寺も周囲の状況次第で中止・規模縮小・短縮開催するといった状況であったが、



設問6 報恩講法座は開催されましたか？

対策の上で行った	50% (7/14ヶ寺)
今年は中止した	50% (7/14ヶ寺)

設問7 来年1月のご正忌法座の予定は？

開催する予定	36% (5/14ヶ寺)
今回は中止	21% (3/14ヶ寺)
元々予定していない	43% (6/14ヶ寺)

二密を避けて法座は開催できるのか

さて、設問以外にそれぞれの寺の状況をお聞きしたところ、ガイドライン等に従い、除菌液の設置など各種感染対策を行うが、推奨1～2mの間隔を空けることができるかについては、なかなか難しいようだ。

「ソーシャルディスタンスについて」

- ・対策はしたが、(再開直後)想定を超える参拝数で対応できなかった。
- ・本堂外陣の参拝人数を制限した。
- ・広縁や内陣余間も席をおいた。
- ・本堂を中継し、庫裡などに分散した
- ・本堂の戸を外して常時換気をしたが3月には苦情もでた。寒い時期には一定時間ごとの換気にした。

お斎や休憩の飲食についても、各寺で対応に苦慮されたようだ。

当初は休憩なしで法話をしたり、法座時間を大幅に短縮したという意見もあった。コロナに対する雰囲気は刻一刻と変化しているため一概に言えないが、報恩講の頃は、全体的にマスク着用や正面を避けることが徹底してきたおかげもあり「通常どおり休憩した」という声も聞くことができた。

いずれにしても寺が感染に対する意識をもつて、たとえ僅かでも何らかの働きかけをすることで、参拝の方も「久しぶりに時間を忘れて話をした」と、安心して茶話ができる空間になるのだろう。

「飲食・休憩・お斎の例」

- ・お斎は無し、又は持ち帰り。
- ・食事する場合は、コの字型に机を並べて空間をとった。
- ・休憩場所では茶菓を出さない。
- ・帳場でペットボトル配布。
- ・アクリル板やビニールシートを休憩場所にも設置した。

「その他のご意見・心がけ」

- 「コロナに関連した門徒さんからの意見で(寺族も)落ち込みます」
- 「お寺からクラスターを出すわけにはいかない、と心がけている」
- 「法座を迎えるにあたり、考えられる対策はすべてやりました」
- 「距離があれば(声がこもるので)マスクを外しておつとめをするが、一言ご了解してから外している」
- 「講師の口が見えるようにフェイスガード・マウスシールドを使う場合も同様に気をつけています」
- 「勤行もマスク着けて外しません」

以上、アンケートで伺った意見等をまとめてみたが、コロナ禍にあっても、お寺の方が油断や予断をせずに細やかな心遣い・注意をして、その姿勢が門信徒の方にも伝わっていると感じた。

いまコロナで様々な縁が断ち切られてしまい、先人方が想いをもって相続してきた形が喪失されてしまうような感じは否めない。その中で我々一人一人ができることは何なのか。何を受け継いでいくのか、常に問いかけながら、愛山護法の念を新たにしたい。

本願寺備後教堂報恩講法要



去る11月30日(月)、令和2年度本願寺備後教堂報恩講法要を勤修した。例年は朝昼二座のお勤めであったが、コロナ禍の現状を鑑み、感染対策を十分に講じたうえで、参拝者を教区・教堂役職者に限り、昼からの満座法要一座で勤修した。

法要は廣文類作法依用、主管導師のもと、この度は芦田組並びに比婆組より各2名にご出動いただき、備後雅楽会の奏樂のなか椅子席を用いてお勤めした。法要後のご法話は、本願寺派布教使・



部 晃尊師(三次組圓勝寺住職・上写真)より、ご講題「慈悲充滿」にてお取次ぎいただいた。最後には、僧侶表彰授与式を挙行し、ご出席いただいた対象者へ主管より表彰状並びに記念品を授与した。

住職在職30年表彰

〔敬称略〕

中組 光栄寺 佐藤 彰雄
 沼隈南組 南泉坊 岡部 正顕
 三次組 淨圓寺 足利 法昭
 三次組 照圓寺 松茂 史子
 世羅組 光源坊 眞教寺 月扇
 世羅組 正蓮寺 伊藤 義照

僧侶90歳表彰

奥組 正善寺 平岡 大禎
 深津組 眞福寺 福岡 照子
 芦田組 正満寺 俵 芳正
 三谿組 照善坊 山崎 久子
 比婆組 西教寺 大川 清子
 比婆組 光徳寺 常光 静美
 世羅組 光源坊 菅田 信男
 世羅組 上能寺 上垣内シヨリ

法要をライブ配信

堂内規模の関係上、参拝人数を役職者に限ったことにより、例年ご参拝いただく寺院関係者・御同行の皆様にも法要のご縁に遇っていただくべく、初めての試みとして、法要の様子を動画配信サイト・ユーチューブ (YouTube) にてライブ配信した。配信にあたっては、枝廣慶樹住職(深津組宗興寺)に、準備から当日の配信まで機材の設定等全てを担っていただいた。

法要の様子からご法話まで、常時30名程がユーチューブにて視聴いただいた。



仏具おみがき

法要前の11月24日(火)には、教区仏婦連盟役員の皆様に仏具おみがきをいただいた。仏具ひとつひとつを丁寧に磨いていただき、また堂内の障子の張替えも行っていただき、当日は厳かな荘厳のもと法要を迎えることができた。

供物作り

尊前にお供えする供物は、和泉裕生教区勤式指導員(神石組正光寺住職)、藤田徹信教区勤式指導員補佐(御調西組光徳寺住職)が数日かけて餅・菓子・果物等を準備いただき、お供えいただいた。



仏華の会

尊前にお供えする仏華は、教区内有志で活動する「仏華の会」の皆様が数週間に渡り準備をされ、本願寺開明社花新(はなしん)水本敏雄会長監修のもと、厳かな仏華を生けていただいた。



前期勤式研修会が開催

News & 活動情報

感染予防に気をつけて



勤式

椅子式規範の留意点

10月5日(月)、本願寺備後教堂本堂において、2020(令和2)年度前期勤式研修会を開催した。ご講師は昨年度同研修会にお越し頂いた邊春真乗式務部課長・本願寺会役者をお迎えし、「椅子式規範について」をテーマに制定の経緯と作法時の留意点をご教授いただいた。参加者の中には、持参した法式規範に留意点を加筆する姿も見受けられるなど、実りある研修会となった。



▲総代世話人会(9月28日)

解散・合併の事務手続き

活動支援

去る10月9日(金)、備後教堂にて寺院活動支援部へ一般寺院担当(上原大信課長より「寺院解散・合併における具体的な事務」について説明が行われた。この度は、コロナ感染予防のため本願寺からリモートでの研修となった。まず備後教区の特徴として、学習会が多くビハーラや少年教化などが盛んであり在家報恩講の実施率が高いが、その反面、葬儀などの簡素化や従来通りのことができなくなってきたという危機感が他教区より多いことを指摘された。平成27年に実施された「第10回宗勢基本調査」での「将来的に解散もしくは合併を考えていますか」という問いに、

考えていないが78.7%(全教区では81%)、合併を考えているが16.6%(全教区では11.9%)、解散を考えているが4.7%(全教区では6.2%)であった。

来年度には第11回宗勢基本調査が実施されるが、この数字はさらに上がるのではないかと危惧される。上原課長は、解散・合併について重要なポイントを二つ指摘された。一つは、住職だけの意志では決められず、お寺に関係するすべての方の同意が必要である。二つ目は、所轄庁に認証された宗教法人という性格をもっている。つまり、宗門と所轄庁と両方の手続きを行わなければならない。事務手続きにあたっては、事前の準備もあり、手続きも時間がかかります。教務所や寺院活動支援部へ一般寺院担当に問い合わせいただき事務手続きを進めることが大切です。



「いわんや悪人をや」をテーマに

寺婦

仏婦連盟

仏婦会員研修会

10月20日(火)、仏婦・寺婦実践運動研修会が開催された。今年にはコロナ禍を考慮し、人数を例年の3分の1に減員し、



午前中のみで開催とし、仏教婦人会会員39名及び寺族婦人会役員20名が参加した。十分な換気、マスク着用の徹底、勤行の声を抑えるなどの工夫をして行った。講義は、安方哲爾師(大阪教区南郡組正満寺前住職)が「善人なおもつて往生をとぐ。いわんや悪人をや(『歎異抄』)」をテーマに行った。

世間ではボランティアを否定する例があるが、悪人の自覚をもち、偽善と知ったうえで、できるお手伝いをさせていただくことは大切な事である(仏婦のダーナ活動等)ということ。

また、阿弥陀様は私たちの頑張りをあてにされるのではなく、そのままの救いであること、そのまますく話された。

参加者からは、「今までも浄土真宗では悪人こそが救われると聞いてはいたが、善人と悪人の定義がはっきりせず、モヤモヤした気分のままだった。でも今日の講義を聞いて腑に落ち、すっきりしました」との感想があった。

12月3日(木)、会員の研鑽を目的とした会員研修会が、実践運動研修会に引き続き人数制限及び時間帯を短縮して開催された。



講師の中村啓誠師(安芸教区佐伯東組光乗寺衆徒)が「念仏者の生き方について」をテーマに講義を行い、ご門主ご親教「念仏者の生き方」の味わい、「わたしたちのちかい」について解説した。「もつと多くの方に聞いてほしい。時間も多ければよかった。時間制限がなければよかったのに」と思えるほど充実した時間を過ごし、参加者からは「またご縁をいただきたい」との声が上がった。

コロナ禍でZOOM会議

子ども若者ご縁づくり



▲教務所本堂のスクリーンにWEBで各地とつないで、連絡協議会

10月27日(火)、子ども・若者ご縁づくりサポーター連絡協議会を、コロナ禍の現状を鑑みオンライン会議システムZOOMを利用したウェブ会議にて開催した。初めに藤間幹夫ご縁づくり推進室マネージャー(深津組光明寺住職)より、ご縁づくりサポーターの役割についてお話いただき、その後、各組の推進状況報告、今後のご縁づくり推進に向けた意見交換を行った。意見交換の場では、コロナ禍により行事開催も難しい状況をなかで、いかにしてご縁づくりを推進していくのか、動画配信やSNSの活用を含め、出席者同士活発な意見交換を行った。

布教団 若手による布教実演

10月28日(水)、御調西組順勝寺(田坂潤住職)のご理解とご協力のもと、「備後教区布教団青年布教大会」を開催した。当日は、布教団連合よりのテーマに基づき、枝廣大智団員(深津組崇興寺)が第一席目、続く第二席目を那須智雄団員(沼隈西組大東坊)にお取次ぎ頂いた。そして、まとめの第三席目を那須英信副団長(沼隈南組善正寺)にお取次ぎ頂き、布教大会を終えた。



教区会 臨時教区会

10月30日(金)、本願寺備後教堂本堂にて本年度2回目となる臨時教区会を開催した。議員出席27名につき、議長より開会が宣言され、上程議案となる財務承認議案7件、2019年度備後教区各種歳計決算について審議され、満場一致の承認をいただいた。



青年布教大会が開催



お聴聞に参るといふ姿勢を

10月31日(土)、備後教区仏教壮年会連盟研修会並びに、第32回全国仏教壮年備後大会実行委員会委員解散式が開催され、29名が参加した。今年にはコロナ禍を考慮し、午後半日の開催とし、換気や十分な距離を空けるなど、密にならないよう工夫した。講師には、



北山祐章仏教壮年会連盟講師(沼隈南組光源寺住職)に「仏法は聴聞にきわまら」と題して講演いただいた。

今のご縁から途切れさせないように次のご縁を育み、繰り返しお寺へ足を運びお聴聞に参るといふ仏壮会員としての姿勢を示された。「お聴聞」を続けていく中で、個々に抱える問題や、自らに向き合う大切さに気付くことができるきっかけに繋がると考えることができた。



教区月報

- 10月(October)
- 2日 門推世話人会
- 5日 前期勤式研修会
- 7日 常備会
- 9日 教務所長・主管歓送迎会
- 11日 寺院解散合併にかかる事務研修会
- 11日 組長会
- 11日 教堂常例法座
- 12日 おつとめ教室・勤式練習会
- 14日 同朋社会部会
- 19日 真宗講座(第26回)
- 20日 広報伝道部会
- 20日 仏婦寺婦実践研修会
- 22日 蓮の実編集委員会
- 23日 時局対応委員会
- 27日 ご縁づくりサポーター連絡協議会
- 28日 組長WEB研修会
- 29日 青年布教大会(御調西組順勝寺)
- 29日 臨時教区会
- 30日 法務法務専門委員会
- 31日 仏壮研修会
- 11月(November)
- 11日 教堂常例法座
- 16日 おつとめ教室・勤式練習会
- 24日 仏婦おみがき
- 29日 門推聞法のつどい(比婆組西教寺)
- 30日 教堂報恩講

環境問題学習会

同朋部会

12月14日
(月)、本願寺備後教堂において環



境問題学習会を開催した。例年は、現地に赴き環境問題の実状を学ぶが、本年度は新型コロナウイルス感染症拡大の現状を鑑み、講師を招いて講義をいただく内容へと変更した。講師に高東征二先生(原爆「黒い雨」訴訟を支援する会事務局長)をお迎えし、「黒い雨と内部被曝」について講義をいただき、放射能が環境・人体へ与える影響について学びを深める学習会となった。

常例法座

(毎月11日)

出講者(敬称略)

- 1月「遊びの人生」
福山市 崇興寺 枝廣慶樹
- 2月「手を合わせて向きあえば」
三次市 東光坊 坂原英見
- 3月「仏法聴聞の道」
尾道市 永正寺 柿原興乗

Infomation 教区僧侶研修会のご案内

- 日時 2021(令和3)年
2月22日(月)開催
- 会場 御調束組 照源寺
- 講師 (株)寺院デザイン代表取締役
薄井 秀夫 氏
- 研修内容 今後の寺院のあり方や、
運営等について

※募集方法や定員については、今後の新型コロナウイルス感染症の拡大状況を鑑み、担当部会において協議決定する



重点プロ

重プロリーダー協議会

12月15日(火)、今年度初めて創設した重点プロジェクトリーダー協議会が備後教堂にて開催された。実践運動の重点プロジェクトは社会への具体的な貢献を目指し実践目標を定め、年限を区切って取り組みという趣旨説明の後、第四期の推進体制について、各組プロジェクトリーダー・サブリーダーから各組の現況報告を行なった。一條博堂・教区リーダーからは「かつて盛況だったお寺へのお参りが減少していく」、「地域が大切に感じていないものは、無くなる」と危機感をもって、今後も教区で情報交換と、各組の連携をはかっていきたいと語られ、今後の方向性を共有した。

今後の予定 (2021年1~3月)

- 1月(January)
- 11日 教堂常例法座
 - 18日 おつとめ教室・勤式練習会
 - 27日 青年布教使研修会
 - 30日 全国ビハーラ集会
- 2月(February)
- 1日 布教団連絡協議会
 - 4日 連区実践運動協議会
 - 5日 門推世話人会
 - 11日 教堂常例法座
 - 18日 後期勤式研修会
 - 22日 僧侶研修会
 - 26日 布教団臨時総会
- 3月(March)
- 1日 連区教化連絡協議会
 - 3日 ビハーラ役員会
 - 4日 仏婦新旧役員会
 - 8日 得度講習会(～10日)
 - 11日 教堂常例法座
 - 15日 おつとめ教室・勤式練習会

- 12月(December)
- 1日 同朋社会部会
 - 3日 少年連盟役員会
 - 3日 仏婦会員研修会
 - 4日 実践運動事業検討委員会
 - 9日 布教団役員会
 - 11日 教堂常例法座
 - 14日 環境問題学習会
 - 15日 重プロリーダー協議会
 - 18日 同朋社会部会
 - 22日 FM放送専門委員会
 - 23日 賦課基準等調整委員会
 - 24日 組長会
 - 24日 真宗講座(第27回)

得度許可

おめでとう
ございます

奥組 増福寺 「敬称略」

藤本 沙織 (釋泉珠)

沼隈西組 法蔵坊

藤原 珠生 (釋珠生)

令和2年9月15日付

深津組 光善寺

苧谷 希美 (釋蓮希)

令和2年10月15日付

敬申

お悔やみ申し
上げます 「敬称略」

御調西組 正明寺 前住職

沼隈 眞澄 (12月4日寂)

鴨川組 泉龍寺 前坊守

坂田 典香 (12月10日寂)

香典返礼

ありがとうございます
ございます

深津組 専明寺 様

深津組 専明寺洗心仏教婦人会様

深津組 正善寺 様

備後教区休館日

左記の期間、教務所の
業務を休みます。

12月28日 (月) 午後5時

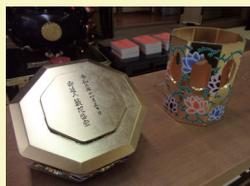
1月7日 (木)

死亡届は各組組長を通して
本山にお届けください。
宗務開始日は8日からです。

寄贈

ありがとうございます
ございます

このたび、世羅組善仁寺門徒の
數花啓宏氏(本願寺備後教区参与)
より、教堂報恩講をお迎えするに
あたって供筒(お供物をお供えす
る台)を7具ご寄
進いただきました
こと、ご披露させ
ていただきます。
誠にありがとうございます
ございます。



ドローン紹介



教区少年連盟で
は、連盟登録単位の
の少年教化活動促進
の一助にすべく、備
品としてカメラ機能
付ドローンを購入。
設置いたしました。
連盟登録のないご寺
院様にも、空からの
寺院風景撮影や、法
要イベントの動画記録など気軽に
ご利用いただけるよう貸出いたし
ます。貸出詳細については、少年
連盟(教務所・窪田)までお問い
合わせください。

この度、令和2年4月1日付で教区
勤式指導員を拜命いたしました
神石組 正光寺
(いずみ ゆうしょう)



和泉 裕生

と申します。

昨年度末より新
型コロナウイル
ス感染症拡大の影響を受け、社会状
況が大きく変化する中、いつでも・
どこでも・誰にでもはたらいてくだ
さいます阿弥陀さまのはたらきに対
し、法要・儀礼を通じて讃嘆・報恩
感謝の至誠を表すことの重要さを改
めて感じます。諸先輩方が繋いで
来られた伝統を継承しつつ、教区内
への正しい勤式の普及に取り組みた
いと思っております。どうぞよろしく
お願い申し上げます。

正しい勤式普及と研鑽の場として
毎月(8月・12月を除く)門信徒の
皆様を対象とした「おつとめ教室」
並びに僧侶向け「勤式練習会」を開
講しておりますので、是非ご参加い
ただきますよう、ご案内申し上げます
ます。また、正信偈の唱読を始めとす
る読経の練習や、法式についてご不
明な点等ありましたら個別に対応さ
せていただきますので、教務所を通
じてご相談ください。

編集後記

毎朝7時22分
に家を出て、

小学3年生の娘を、車で5分ほ
ど離れたスクールバスの乗り場
まで送っていきます。途中、東
に向かつてまっすぐ坂を上って
いく箇所があり、12月になると、
ちようどこを通る時に、坂の
頂上辺り、車の正面から太陽が
昇ってきます。「もうこの時期
か。今年ももうすぐ終わるなあ」
と感じます。夏には、すでに高
い場所を照っていた太陽は、冬
至(今年は12月21日)に向かっ
て徐々に日の出が遅くなり、そ
してまた夏至に向かつて、日
が長くなっていくきます。私が、
「太陽の出ってくる時刻と位置は
変わっていくけど、一年したら
ちゃんと元の場所にもどってく
るんよ。すぐくない?」と言っ
ると、「ふーん、普通じゃん」と娘。
▲そう、普通です。当たり前の
ことです。新型コロナウイルス
によって、私たちの生活は大き
く変わり、「当たり前」だと思っ
ていたことが当たり前ではなくな
ります。当たり前だと思ってい
ることが当たり前前にあること
と、ほんとはとてもありがたい
ことです。
(K・K)